

## IV 走行環境整備の基本方針



# 1. 自転車走行環境整備の配慮点の整理

- 上位・関連計画や自転車を取り巻く社会情勢、区民・来街者の意向（アンケート調査）に基づき整理した「配慮点」について、これらの解消につなげる取組の方向性を検討します。
- 路線の抽出では、買い物での自転車利用が多い状況を踏まえ、池袋駅周辺の繁華街等にスムーズにアクセスできる環境が必要です。とくに様々な機能が集まる池袋駅周辺は、重点的に整備する必要があります。また、その整備形態については、国のガイドラインを踏まえながら、時流に合わせた車道通行を旨とする整備を図ることが重要です。
- ただし、依然として歩道通行のニーズが高く、車道通行に不慣れな人が多い現状で、車道通行が浸透するまで過渡期の措置として、通行場所を選択できる環境づくりと共に、やむを得ず歩道を通行している人が、自然と車道通行に転換していけるような環境をつくる必要があります。

## 1. 上位・関連計画における配慮点

- 配慮点① 国の見据える自転車利用環境整備との整合
- 配慮点② 都の自転車走行環境整備の方向性との整合
- 配慮点③ 池袋駅周辺でのまちづくりと連動した整備の推進

### 路線抽出の課題

- 買い物中心、繁華街が集中する**本区特性に合った路線抽出**が必要
- 繁華街に**事故の不安なくアクセスできる環境づくり**が必要

## 2. 自転車を取り巻く環境における配慮点

- 配慮点④ 多様化し、増え続ける自転車利用ニーズへの対応
- 配慮点⑤ 区民に加え、通勤・観光等の外国人を含めた来街者のニーズへの対応
- 配慮点⑥ 区内あらゆる場所に拠点が分散形成される地域特性
- 配慮点⑦ 区内の自転車関連事故への対応

### 整備形態の課題

- 安全、便利に走行できる**車道を基本とした構造の検討**が必要
- 池袋駅に集まる自転車の**「今」と「これから」の対応**が必要

## 3. アンケート調査における配慮点

- 配慮点⑧ 日々の買い物での自転車利用ニーズへの対応
- 配慮点⑨ 行っている場所・行きたい場所は、池袋、巣鴨等の拠点
- 配慮点⑩ 池袋駅周辺など繁華街に集中するヒヤリハット経験
- 配慮点⑪ 車道通行の不便や不安を解消する走行環境の確保
- 配慮点⑫ 既存の歩道内での通行場所の確保に対するニーズへの対応

### 使い方の課題

- 車道をスムーズ、安全に走行できる環境整備**が必要
- 相反するニーズ
- 歩道内をゆっくり安全に通行する環境の当面の維持**が必要

## 2. 整備の基本方針

- 自転車走行環境の整備に向けた配慮点を踏まえ、また本計画の基礎となる自転車総合計画の理念を受けて、「歩行者も、自転車も、安全・安心にまちを楽しめる走行環境づくり」を基本目標に掲げます。その実現に向けて、以下の3つの方針に基づき整備路線を抽出し、各道路に適した構造を選定しながら、具体的な整備を進めます。

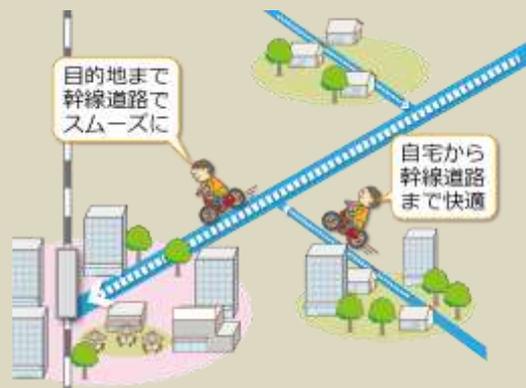
### 基本目標

## 歩行者も、自転車も、安全・安心にまちを楽しめる走行環境づくり

#### 方針

### 1 区民・来街者の行き先に繋がる自転車ネットワークをつくります。

- 買い物や通勤に自転車が活用される状況を踏まえ、区民の移動ニーズが集まる場所に、安全に、安心してアクセスできる環境づくりを進めます。
- とくに、池袋駅周辺は、商業機能、業務機能が集積しているため、広域的なアクセス経路の確保と共に、繁華街内での自転車利用を支えるネットワークの形成を進めます。



#### 方針

### 2 車道走行に自然と誘導される安全・安心な走行環境をつくります。

- 法制度上、自転車は車道通行が原則ですが、依然として歩道内を通行するニーズが残る現状で、歩道で自転車を利用する人々が、車道を通行できる環境をつくる必要があります。
- 自転車の走行空間の整備と共に、路上駐車を抑制したり、自転車利用のルールを遵守する等の周知啓発を含め、適切に空間を利用する環境づくりを進めます。



#### 方針

### 3 現状の道路空間を活用し、利用者が選択できるしくみをつくります。

- 区内では既に歩道内に自転車の通行空間が整備された区間があり、区民からの評価も一定程度高く、歩道通行に慣れている状態です。
- 車道通行が十分に浸透するまでの過渡期では、歩道内の通行空間と車道の走行空間を併用し、利用者が状況に応じて、【ゆっくりと歩道を通行】、【スムーズに車道を走行】を選択できるよう、暫定的なしくみを検討します。



